

〔嬉遊笑覽二中〕桔梗笠略○中 鷹筑波集三朝がほに日まけをさすな桔梗笠吉數 毛吹草、さく花の

まんをやゑめ緒桔梗笠吉政 佐夜中山集桔梗ばかりをもてはやすなり、付句めされたる笠もい

とよし踊ぶり、笑種

〔古今要覽稿器財〕蓮○葉○笠

蓮葉笠は太平記に見えたる外、かつて所見なければ、いかなるものとも、其形状はさだかにえられねど、おもふに北條五代記に、所謂桔梗笠の類にて、蓮葉のさまに製したるよりいふ名なるべくおもはるゝなり、

〔太平記二十九〕師直以下被誅事附仁義血氣勇者事

同二十六日○觀應二年○二月○將軍○足利○氏○已二御合體ニテ上洛シ給へバ、執事兄弟○高師○直○師○奏○モ同遁世者

ニ打紛テ、無常ノ岐ニ策ヲウツ、折節春雨シメヤカニ降テ、數萬ノ敵此彼ニ扣タル中ヲ打通レバ、ソレヨト人ニ被見知ジト、蓮ノ葉笠ヲ打傾ケ、袖ニテ顔ヲ引隠セ共、中々紛レヌ天ガ下、身ノセバキ程コソ哀ナレ、

〔好色一代女六〕夜發の付聲

想出して觀念の窓より覗けば、蓮の葉笠を著たるやうなる小兒等の面影○下

〔大塔物語〕凡善光寺者三國一之靈場○中 道俗男女貴賤上下、思々心々風流、不遑毛舉、若殿原者、例

目結十徳室町笠引籠ヒキコメテ有爲ニ口覆體ト、

〔雍州府志七土産○〕笠傘○中 竹籜笠、大和大路古法性寺邊造之、故專謂法性寺笠、

〔元治〕花洛羽津根二洛外名物

〔改正〕花洛羽津根二洛外名物
籜笠たけのかさ 東福寺門前町にあ
り、法性寺笠といふ、

〔竹齋行脚袋三〕深草の馬思へば宇治川の先陣

以地名爲名